

令和8年度 第1回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年7月22日（水）午後6時30分～7時34分（64分）
- 2 場 所 農村環境改善センター（北浜） 多目的ホール
- 3 出席者 一般出席者 15人
網走市出席者 10人（市長、教育長、
企画総務部長、建設港湾部長、
市民環境部長、観光商工部長、学校教育部長、
学校教育課参事、広報広聴係長、
広報広聴係主事）
町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）
計 29人

4 議事進行 理事

5 進行記録

18:30 開会

18:31 市長あいさつ

18:33 町連副会長あいさつ

18:36 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について

19:00 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について

19:08 テーマ(3)どこバスについて

19:23 その他

19:32 市長あいさつ

19:34 閉会

6 質疑など

【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

▼参加者	学校再編検討協議会のメンバーにドーコンが入っているのはなぜか？ 市街地の小中一貫校２校設置は通学の負担が大きいので検討し直してほしい。 今回の適正配置の検討は、教育委員会の発信か？
（学校教育部長）	協議会メンバーにドーコンが入っている件については、会議のサポートや、基本計画策定に係る支援の委託業者として入っている。 市街地の小中一貫校２校設置は決定したものではなく、他の地区からも同じ懸念が上がっており、そこも踏まえて今後どうしていくかを検討協議会で議論していくという形になっている。 適正配置については、網走市で策定した基本的な考え方に基づき、少子化や学校の老朽化を踏まえて、今後、学校を再編していくべきとして教育委員会で決定して進めている。
▼参加者	市内に３校を残す案には反対。現状維持もしくは最低限の再編にとどめていただきたい。 子供の通学時間が長くなり、睡眠時間を削って通学し、学校教育を受けるのはメリットが少ない。 人数が集まれば、より良い教育、より質の高い教育が受けられるかについても、少子化時代の新しい学校教育のあり方を検討し、網走から発信していくというスタイルに変えた方がいいのではと思う。 例えば、子供が動くのではなく、音楽の先生や家庭科の先生が何校かを１人で掛け持ちするなどの大人が動く方法や、教室の大きなスクリーンとタブレットを使い、学校どうしで意見交換するなど、デジタルの時代だからこそその学びの機会が作れるのではと思う。 老朽化については、昭和時代の建物なので、令和の小学校として建て直すことも検討していただきたい。 お金はかかるが、少子化は日本全国で起きていることであり、建て直しが良いとなれば周りも真似していくと思うし、素敵な令和の小学校が発信できるチャンスでもあると思う。

(学校教育部長)

郊外地区に住む子どもが通学に1時間かかるとなれば、親も街中に住み、父親が仕事に通う形になるかもしれない。
そうなったときに、街中で育った子供が、通って農業をする父親を見ることができず、農業の様子を見られないことが懸念される。
春に何が植えられて、夏にどういう成長をして、秋にどうやって収穫されるのか、家の周りをトラクターとかコンバインが通る環境で子どもが育ち、農業を継ぐ、の流れが途絶えてしまう。
街中で育った子供が農業を継ぐとはなりづらいのでは。
結果、農地を誰かに貸すか、東京に行って働くなどの話にもなる。子どもの出生数も少なくなり、網走を離れる人も多くなっている中で、3校に絞った後も、さらに1校に絞る等の議論になることも心配。

学校を新しく作ることは、子供への投資だと思うし、子供への投資は、ゆくゆくは網走への未来への投資だと感じている。
3校にする案には絶対反対。最低限の再編もしくは現状維持で考えていただきたいという風に思う。

切実な意見として受け止めさせていただく。

14校を3校にするというのは、なかなか他の地域でもないことなので、十分に議論をしなければならないと考えている。

学校再編を進める際には、学校に通う意義についても重要なことだと思っている。何校にするか等決まっていく段階で、学校を通して魅力ある学校作りを、教育委員会、学校、地域の保護者と合わせて進めていければと思っている。

提案の音楽の先生の巡回については、制度的には難しい部分もあるが、充足した教職員配置ができない状況で、教科によって各校を回っているケースもある。

タブレットを利用した子どもたちの意見交換については、東小学校と白鳥台小学校で行っており、画面の電子黒板等を活用し、様々な授業展開をしている。

建て直しについては、何校か決まっておらず、新築か改築かも決まっていないが、再編後に魅力ある学校にしていかなければならないと思っている。

街中に移り住むことで、農業や漁業の就労に問題が生じることについては、他の地域でも意見があったので、ご意見として受け止めさせていただく。

また、同様の意見を検討協議会でお伝えしているので、ご承知
いただきたい。

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について】

（質問意見なし）

【テーマ（３）どこバスについて】

- | | |
|----------|--|
| ▼参加者 | 北浜や音根内からどこバスを利用する手段はあるのか？ |
| （観光商工部長） | 今の段階では郊外に拡大するという計画はないが、公共交通の空白地帯の対応として、郊外地区の乗り合いタクシーの実証運行を行っている。
実証運行は今年で３年目であり、今年度の運行を踏まえた中で今後、本格運行に入りたい。 |
| ▼参加者 | 乗り合いタクシーを存じ上げないが、どのように利用するのか？ |
| （観光商工部長） | 郊外の１人暮らしの方など、車が運転できない方や、街中への買い物や通院が難しい方向けに乗り合いタクシーを運行している。
朝のダイヤを決めており、乗車希望の前日に予約を入れると、その時間にタクシーが来て、街まで行き、帰りはタクシー会社に直接電話し、迎えに来てもらう形。
現在、実証実験中であり、片道１回1000円で行っている。 |
| ▼参加者 | そういった形であれば、どこバスを利用できるのが羨ましいと思う。
乗り合いタクシーでは前日予約だが、どこバスであればアプリ等で来てくれる。
学校や、プール、塾への保護者の送迎が負担であり、街中の子どもはどこバスを使えるため、教育格差のような危機感も感じているので、どこバスは良い取り組み。
厳しいかもしれないが、エリアを拡大してほしい。 |

(観光商工部長)	どこバスについては、人口の多いところで運行しており、エリア拡大には、台数や運転手の確保等の課題がある。 また、学校再編に合わせて、スクールバス等の交通手段も検討が必要なので、公共交通活性化協議会の中で意見を伺いながら今後の公共交通体制を検討していきたい。
▼参加者	どこバスのチラシや地図はどこに置いてあるのか。
(観光商工部長)	バスのパンフレットがあり、町内会を通して配布している。 希望があれば郵送も可能。インターネットでもご覧いただける。
▼参加者	街中の人には馴染みがあるのかもしれないが、高齢の親にいつまで車を運転させるかは郊外地区でも同様の課題だと思う。 公共交通機関を使い、住む場所を変えずにこれまでの生活ができるかを考えていきたいので、エリア外でもどこバスについては、お知らせしてほしい。
(観光商工部長)	周知について、様々な形でお知らせしていきたい。

【その他】	
▼参加者	学校へのエアコン設置はどこまで進んでいるか。 ある程度設置が終わったら、教員住宅への設置を考えてるのかお伺いしたい。
(学校教育部長)	学校へのエアコン設置については、小学校、中学校とも普通教室への設置は全て完了しており、今年度、理科室や音楽室等の特別教室に学校の希望に応じて設置を進める予定。 教員住宅については、教育委員会で設置する予定はない。 先生方個人でつけていただいている。
▼参加者	先生は転勤族なので、行くたびに設置解体費用がかかると思うが、その辺の助成も教育委員会でしてるのか。
(学校教育部長)	教育委員会としての助成はしていない。 市建築課でエアコン設置に係る補助金があるので、そちらを活用いただいている。

▼参加者	助成は新規の1回だと思うが、転勤先でまた申請してもいいのか？
(学校教育部長)	再度の申請は、転勤先自治体に制度があるかによる。 転勤の際、エアコンを外さず置いていく方が多いとは思いますが、教育委員会としては、原状回復でお願いしている。 エアコン購入費用の負担については、先生にお願いをしている状況であり、教育委員会として、全ての教員住宅にエアコンを設置する考えはない。
▼参加者	それは統廃合を考えてのことか？
(学校教育部長)	そういうことなく、エアコンについては個人の負担でやっていただくという考え。 決して10年後かの統廃合を見据え、エアコンをつけないということではない。 これまでも設備関係の不具合については、都度聞き取りし、改修をしながら適正に住めるよう状況を保っている。
▼参加者	北浜はまだ涼しい方だが、近年の暑さが厳しく環境改善していただければ嬉しいと思い、質問させていただいた。 関連して、北浜の消防分団詰所で、週1回、高齢者のいきいき教室を開催しており、80代の方、90代後半の方が通っているが、エアコンがないところで、窓を全開にしながら施設を利用している。 消防、市それぞれの持ち分があり難しいかと思うが、エアコン設置について考えていただけないか。
(市長)	コミセンには順次エアコンを設置しているが、消防分団詰所のエアコン設置については初めて伺った。 今年のものにはならないが、来年度に向けて検討させていただきたい。